2019女子ハンドボール世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019

戦況用紙

開催日	２０１９年　１１月　３０日　土曜日	試合コード	＃９
開催地	（都道府県名）　熊本県	会場名	熊本県立総合体育館

	A	スコア			B
結果	デンマーク	32	前半	12	オーストラリア
			１７　―　４		
			後半		
			１５　―　８		
			第一延長前半		
			―		
			第一延長後半		
			―		
			第二延長前半		
			―		
			第二延長後半		
			―		
			7mc		
	DEN		―		AUS
			―		

戦況	見出し	堅守速攻で大量得点
	前半	ＡＵＳのスローオフで始まり、ＡＵＳがＮｏ１４のミドルシュートで先制した。 その後、ＡＵＳはＤＥＮの攻撃に、前半７分Ｎｏ２１、２２が立て続けにディフェンスファールで退場しコート上に５名となる。この間、失点は１点でしのいだが、その後ＤＥＮはＮｏ２５の速攻などで着実に得点を重ね前半１１分でＤＥＮ６－３ＡＵＳとする。ＡＵＳもＧＫＮｏ１３のナイスセーブ、Ｎｏ３０のサイドシュートが決まり食い下がる。ＤＥＮはフィジカルを活かした堅い守りからのＮｏ２５の速攻やＮｏ８のミドルなどでジリジリとＡＵＳを引き離しにかかる。ＡＵＳは２０分、たまらずタイムアウト。この時点でＤＥＮ１０－４ＡＵＳ。タイムアウト後、ＡＵＳはＮｏ１７を投入しＷポストで対抗、しかし、なかなか点差は縮まらない。ＤＥＮのサイドからの攻撃に前半２６分またしても連続のファール退場でコート上が５名となりますます点差は開き、前半はＤＥＮ１７－４ＡＵＳで終了した。
	後半	後半はＤＥＮＮｏ３２の連続得点でさらに点差は開いていく。 ＡＵＳは、ＤＥＮの攻撃に５－１ディフェンスなどで対応していくが、ＤＥＮは後ろの空いたスペースへのポストのブロックプレーや横方向にずらしてのサイドシュートなど多彩な攻撃で得点を重ねていった。ＡＵＳは攻撃ではＷポストを使ったライン際のプレーを試みるもフィジカルに勝るＤＥＮのディフェンスに阻まれ、逆に速攻で点を失っていった。後半１３分ＡＵＳは４－２ディフェンスへ変更し、ＧＫＮｏ１の好セーブやサイドＮｏ２２の意表をついたロングシュートでチームは盛り上がる。しかし、ＤＥＮは後半２３分には選手を大幅に入れ替えてくるが、守って速攻の手を緩めない。一方ＡＵＳは疲れが見え始めミスが目立ち失点を重ねていった。最終的にはＤＥＮ３２－ＡＵＳ１２で試合終了。フィジカルに勝るＤＥＮの堅守からの速攻や多彩なプレーでの一方的な試合となった。

Hand in Hand 1つのボールが世界を結ぶ

戦況作成者	岩永　孝博